

議員提出議案第8号

生涯を通じた歯科健診の実現を求める意見書

上記の議案を別紙のとおり会議規則第14条の規定により提案理由を付け提出します。

令和5年6月27日

富山県議会議長 山本 徹 殿

提出者 富山県議会議員  
渡 辺 守 人  
川 島 国  
火 爪 弘 子  
武 田 慎 一  
永 森 直 人  
岡 崎 信 也  
藤 井 大 輔  
瀬 川 侑 希  
澤 崎 豊  
庄 司 昌 弘  
佐 藤 則 寿



## 提 案 理 由

現在、我が国の歯科健診体制は、成人期以降の受診機会が限定的となっており、決して十分とは言えない状況にある。

本県議会においても、「富山県歯と口腔の健康づくり推進条例」を議員提案により制定し、県民の歯と口腔の健康づくりを推進しているところであるが、国においても、令和4年に閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針2022」に「生涯を通じた歯科健診の具体的な検討」を行うことが初めて盛り込まれたことから、口腔の健康維持への取組が促進されることが期待される。

よって、「歯科口腔保健の推進に関する法律」の改正などにより、生涯を通じた歯科健診の法制化を早急に進めるとともに、国民皆歯科健診の制度設計等に関する具体的な検討を進めるにあたっては、地方自治体をはじめ関係者の意見を十分に反映させることなどを強く求めるものである。